

目的

インターンシップや事前・事後学習を通して、自らの将来像やキャリアプランを具体的にイメージさせ、実践的な資質や能力を身につけさせる。またキャリア教育先進校の実践を学ぶことで、今後のインターンシップ教育や地域連携教育に向けた研究を進める。

概要

◆インターンシップの事前学習として意義やビジネスマナーについて学び、事後丁寧な振り返りを行うことで、生徒が主体的に取り組み、自己理解や職業理解を深める姿勢を育てる。

・事前学習「インターンシップの意義」「働くことについて」「企業研究」「マナー講座」

・7月26日(水)～28日(金)インターンシップ実施

・事後学習「インターンシップ振り返り、自己評価」「インターンシップ成果発表会」

※本校ではインターンシップの事前・事後指導及び就業体験の実施時間が1750分を超えた場合、「社会体験活動」として単位認定(1単位)を行っている。

◆先進校視察を行い、キャリア教育や地域連携教育について学ぶ。



R5インターンシップの様子

具体的な取組①

「インターンシップ事前指導」

対象:2学年就職希望者

講師:Kキャリアウイング 加藤 雅子氏

- 内容:1)インターンシップの意義
2)質問のポイント
3)受け入れ企業での行動、マナー



マナー講座

「インターンシップ事後指導」

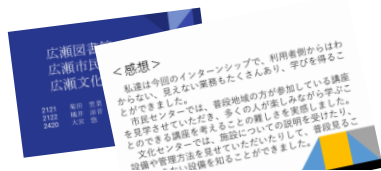
- 内容:1)インターンシップ報告のまとめ方
2)礼状の書き方
3)これからの高校生活ですべきこと



振り返りシートによる自己理解

「インターンシップ成果発表会」

内容:就業体験の様子や学んだこと、今後の生活に生かしたいことなどを各自でスライドにまとめ、発表した。



成果と課題

○就職への意識や職業理解を深めることで、生徒自らの人生や就業の意義、自己の適性について深く考察する機会となり、今後の就職活動へのしっかりとした動機付けとなった。また体験の成果を発表し、評価を受けたことが大きな達成感と自信になったようだ。今後も生徒の「社会で実践する力」を育成し、卒業後の具体的なイメージを持って学校生活に臨めるよう支援していきたい。

具体的な取組②

「キャリア教育先進校視察」

訪問先:福島県立石川高等学校

「いしかわWORK&LIFE教育」

※高校と石川町が包括的連携協定を結び、実習受入企業の調整や高校魅力化コーディネーターの配置による総合的な探究の時間の充実など、地域全体で子どもたちの学びを支援し、「地域に貢献できる人材」を育成する取組。

主な取組

- 1)「学校設定教科 キャリアチャレンジ」(選択教科)
2年 キャリアステップⅠ… 前期・後期2社で実習を行う。
3年 キャリアステップⅡ… 通年1社で実習を行う。
(主な実習先:町役場、幼稚園、老人ホーム、菓子店、工務店等)
- 2)「地域創造探究」(総合的な探究の時間)
1年:「地域を知る」…「まち歩き」「地域人講話」「自治センター見学」
2年:「地域で学ぶ」…個々の興味関心に基づく地域テーマ研究。
3年:「地域に貢献する」…2年次のテーマを深め「地域との協働」の実践へ。

成果と課題

○町が地域の担い手育成のため、積極的に高校と協働し教育活動に携わるという充実した環境に感嘆させられた。また高校生が地域文化や産業と連携し、個性豊かなまちづくりに参画することは、生徒のキャリア形成や人間的な成長に大きく寄与するものと思われる。地域振興は全国的な課題であり、今後の高校と地域との協働体制のあり方として学ぶことが多いと感じた。